

これまでの観光人材の育成・確保に向けた取組

課題認識：

- 産業構造の転換・国内観光需要の成熟等、大きな環境変化に晒されている中、観光産業を牽引する経営人材や新たなビジネスを創出できるトップレベルの人材、地域の観光産業の中核を担うミドルマネジメント層の人材の不足（**質の不足**）、
- 国内総人口の減少・少子高齢化、訪日外国人観光客の増加等に対応する現場スタッフの不足（**量の不足**）

→観光産業の担い手を4層構造により育成・強化

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| ①我が国の観光産業を牽引するトップレベルの経営人材の育成 | ②地域の観光産業を担う中核人材の育成 |
| ③観光産業の即戦力となる実務人材の育成 | ④次代の観光産業を担う子ども達への観光教育の推進 |

産業界のニーズを踏まえた観光人材育成事業の実施

観光産業の国際競争力UP！

観光産業を牽引する
トップレベルの**経営人材**

観光産業のトップ・中核人材育成 (質の不足への対応)

① 観光産業を牽引するトップレベルの経営人材育成

→科学的な経営による生産性向上・経営力強化を行い、国際競争力を強化するため、平成30年度「**観光MBA**」プログラムを創設。協議会の開催。

② 地域の観光産業を担う中核人材育成

→地方における観光人材育成のため、宿泊産業等に従事する社会人向けに、観光に関するマーケティングの知識や、地域の特色を活かしたケーススタディ等を学ぶ「**リカレント教育講座**」を全国の複数大学で実施。産学連携コンソーシアムを構築し、全体会議にてノウハウを共有。

地域の観光産業を担う**中核人材**

活躍できる実務人材の育成 (量の不足への対応)

即戦力となる現場の**実務人材**

③ 観光産業の即戦力となる実践的な人材の育成

→人材の定着（確保）・活用等の課題解決、及び観光産業の生産性向上を図るための取組を支援する「**モデル事業**」を実施。

次代の観光産業を担う子ども達への**観光教育**

〔参考〕観光産業の経営人材育成事業(「観光MBA」)

概要

- 我が国観光産業は経営手法を長年の「勘」や「経験」に頼っており、インバウンド需要を十分に取り込めていない
- 科学的な経営による生産性向上・経営力強化を行い、国際競争力を強化する必要がある
- しかし、我が国の経営人材育成システムは脆弱であり、**経営人材育成拠点の構築**が不可欠である

⇒一橋大学及び京都大学に、**観光に特化したMBA（経営学修士）コースを創設。**

観光関連企業の経営に携わる社会人を対象にした2年間の講義を通じ、**我が国の観光産業をけん引するトップレベルの経営人材を育成**

●経営人材育成拠点構築に向けた産学官の取組

平成28年度

- ワーキンググループの開催（4回）**
 - 「観光MBA」設置に向けた議論
 - 業界のニーズの確認（求める人材・科目等）

- 周知啓蒙**
 - 新聞紙面に於いて観光経営人材育成の重要性を啓蒙

平成29年度

- ワーキンググループの開催（3回）**
 - 両大学にて模擬授業を実施

- 周知啓蒙**
 - 観光経営人材育成フォーラムを開催（ゲスト：星野リゾート代表 星野佳路氏 等）



平成30年度

- 1年生用カリキュラムの開発**

「観光MBA」開学

- ワーキンググループの開催（3回）**
 - 「観光MBA」取得者の活躍促進について議論

- 周知啓蒙**
 - 「観光MBA」の重要性を新聞紙面に議事広告掲載

- 2年生用カリキュラムの開発**

平成31年度

- 産学官連携協議会の開催（3回）**
 - 「観光MBA」の横展開や今後の観光経営人材育成について議論

令和2・3年度

- 産学官連携協議会の開催（1～2回）**
 - これからの観光産業に求められる人物像等について議論

観光MBAプログラム概要

一橋大学大学院経営管理研究科 ホスピタリティ・マネジメント・プログラム

ホスピタリティ産業の将来を担う高度経営人材を育成

募集人員：10名
於：千代田キャンパス
平日夜間・土曜日に開講



【科目例】

- ・経営戦略
- ・人材マネジメント
- ・ホスピタリティ・マネジメント
- ・International Accounting 等

京都大学経営管理大学院 観光経営科学コース

日本の観光の地域と産業を活性化する経営人材を育成

募集人員：10名
於：吉田キャンパス
平日日中に開講



【科目例】

- ・ツーリズム産業論
- ・京都・観光文化論
- ・デスティネーション・マネジメント論
- ・Global Tourism and Hospitality Management 等

コーネル大学やセントラルフロリダ大学の先進的なプログラムや業界の意見を参考にし、観光経営に特化した効果的なプログラムを構築

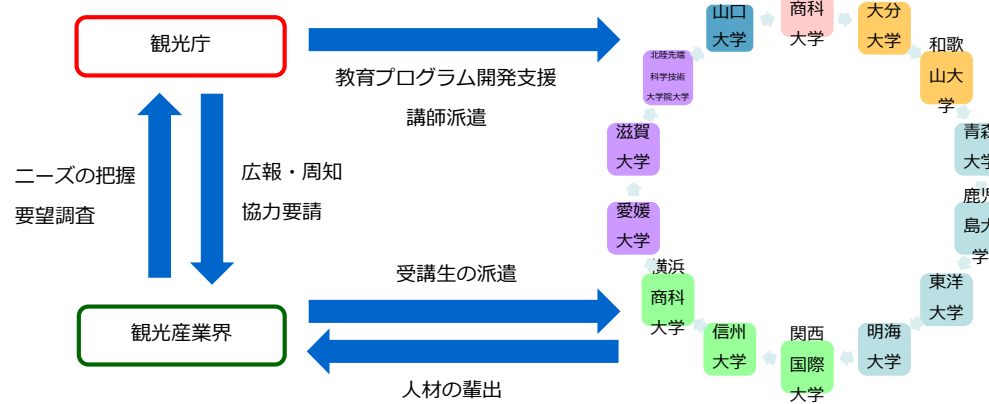
平成30年度（1期生） 両大学合わせて、17名が入学
平成31年度（2期生） 両大学合わせて、19名が入学
令和2年度（3期生） 両大学合わせて、23名が入学
令和3年度（4期生） 両大学合わせて、18名が入学
令和4年度（5期生） 両大学合わせて、17名が入学
→ホテル、旅行会社、DMO、鉄道会社、航空会社等の観光関連企業の社員が受講

〔参考〕観光産業の中核人材育成・強化学業（～令和3年度）

背景・課題

- 平成27年度以降、地方における観光人材育成のため、全国各地の14大学を拠点とした、リカレント教育の講座を支援してきたところ。
- 令和4年3月までに、「SDG s」や「MICE」「ウェルネスツーリズム」といった、地域の特色を活かしたプログラムが開講され、これまで約800名の受講生を輩出してきた。
- 地域の宿泊、旅行、飲食業等のマネージャークラス等が受講し、観光に関するマーケティングの知識や地域の特色を活かしたケーススタディ等を学び、新規ビジネスプランの創出や収益力向上を実践している。

事業イメージ



- ① 教育プログラムのブラッシュアップ**
 - ・採択校へ合計で2年間の社会人向け講座のブラッシュアップを支援（H27年度から累計14大学）。
- ② 産学連携コンソーシアムの構築・運営**
 - ・産学連携によるコンソーシアムを構築し、ノウハウの共有や講師派遣協力を実施。
- ③ 全体会議・合同研修の実施**
 - ・観光庁主催による全体会議や合同研修を実施し、ノウハウを共有。
 - ・各地域で産学官による自走化検討会を開催し、自律的かつ継続的なプログラム実施の仕組み作りや協力体制を構築。

目指すべき姿

コンソーシアムを形成し、全国で観光産業における経営人材の育成事業を継続して展開。

地方を中心とした旅館経営者及び大学研究者の全国的なネットワーク形成

大学名	採択年度	講座テーマ	大学名	採択年度	講座テーマ
小樽商科大学	2015～2016	観光産業の中核を担う経営人材育成	関西国際大学 (旧神戸山手大学)	2018～2019	ツーリズムプロデューサー養成
和歌山大学	2016～2017	観光・地域づくり	信州大学	2018～2019	ユニバーサルフィールド・コンシェルジュ養成
大分大学	2016～2017	宿泊業の伝統と経営革新	横浜商科大学	2018～2019	MICEビジネス中核人材育成
青森大学	2017～2018	実践から学ぶ自然環境資源を生かす体験型観光商品の開発手法	愛媛大学	2019～2020	愛媛県・四国の儲かる観光サービス業を担う中核人材育成
東洋大学	2017～2018	ホスピタリティ産業における女性活躍と組織づくり	滋賀大学	2019～2020	ウェルネスツーリズムプロデューサー養成
明海大学	2017～2018	地域の観光産業の強化を担う宿泊施設のための中核人材教育	北陸先端科学技術 大学院大学	2019～2020	観光コア人材育成
鹿児島大学	2017～2018	世界自然遺産によるエコツアーDMO形成のための中核人材育成	山口大学	2020～2021	SDG s による山口県のスポーツ観光

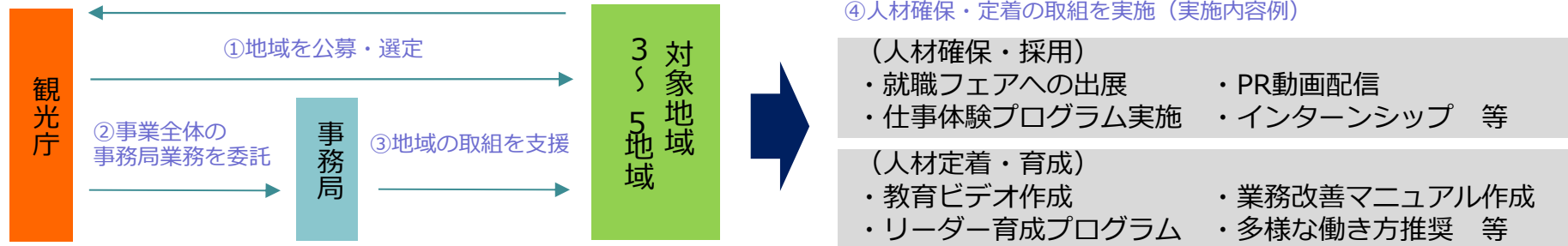


〔参考〕地域における観光産業の実務人材確保・育成事業（～令和4年度）

事業概要

- 我が国の地域経済において重要な役割を果たしている観光分野において、従前から、人材の量的・質的確保や育成に課題があったが、新型コロナウイルス感染症の影響による離脱者の増加に伴い、対応の必要性が増大
- 全国複数の地域において、女性・就職氷河期世代・高齢者など多様な人材が働きやすい環境づくり等、人材の定着・確保に向けた取組や、観光で稼げる地域の実現に向けて人材育成が急務であるため、観光人材の確保・育成に係る課題解決に取り組むモデル事業を実施

事業概スキーム



これまでの支援地域

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
草津温泉観光協会DMO人材育成部会 DMO人材育成部会を中心とした人材確保・育成	乳頭温泉組合（2年目） 地域における観光産業の実務人材確保・育成	湯田川温泉観光協会（2年目） ファンが集い、人材を紹介し合う旅館	渋温泉旅館組合（2年目） 渋温泉×立教大学 次世代観光人材育成事業
栃木県観光物産協会 人材育成推進・定着化	一関温泉郷協議会 分散型温泉郷の人材確保・育成	黒川温泉観光旅館協同組合（2年目） 採用に直結する戦略的なインターンの構築	海士町観光業魅力化協議会 海士町観光業魅力化実証事業
乳頭温泉組合 地域における観光産業の実務人材確保・育成	湯田川温泉観光協会 ファンが集い、人材を紹介し合う旅館	蓼科観光事業者向け「女性活躍」支援策 事業化協議会（2年目） ママが安心して働ける文化・制度の醸成	NPO法人東村観光推進協議会 やんばる東村 スタートアッププロジェクト
	黒川温泉観光旅館協同組合 採用に直結する戦略的なインターンの構築	湯田中渋温泉郷人材開発協議会 学習・実践プログラムで即戦力を採用	湯沢町山泊推進協議会 YUKIGUNIホイスコーレによる地域課題解決型観光教育プログラムの策定・運営と、 観光教育人材の創出
	蓼科観光事業者向け「女性活躍」支援策 事業化協議会 ママが安心して働ける文化・制度の醸成		